

平成28年8月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）

日時：平成28年8月17日（水）14：30～15：30

場所：古賀市役所 第2庁舎 第2委員会室

出席委員：長谷川教育長 大神委員 小山委員 米倉委員

欠席委員：石橋委員 松本委員

事務局：清水教育部長 簗原教育総務課長 木部学校教育課長兼主幹指導主事 力丸生涯学習推進課長 桐原青少年育成課長 星野文化課長 大住指導主事 教育総務課庶務係（松尾、民谷）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 教育委員情報交流 なし
 - (3) 教育委員会報告（①②については古賀市教育委員会会議規則第11条により非公開）
 - ①市議会第3回定例会について
 - ②学校施設の管理業務遂行上の過失に対する損害賠償に係る市長の専決処分について
 - ③スポーツ推進委員の委嘱について

4. 議案

番号	件名	議決年月日	議決結果
第47号議案	平成27年度古賀市教育委員会の点検及び評価報告書について	H28.8.17	原案可決

5. 協議事項 なし
6. その他事項
 - (1) 各課（所属）等報告
 - (2) その他
7. 閉会

会議内容：以下のとおり

1. 開会

14時30分、議長が開会を宣言。

大神議長 本日は石橋委員と松本委員が都合により欠席されている。

2. 教育長あいさつ

教育長 非常に暑い日が続いている。古賀市の子どもたちについて、学校からは、事故等の連絡は入っていない。中学校の部活動など熱中症等の心配をしていたが、小さな体調不良等はあっているかもしれないが、委員会に報告が上がる程度のもではなく、一安心をしている。

3. 諸報告

(1) 教育長報告

(行事等)

- ・ 8月7日、生涯学習笑顔のつどいがあった。参加ありがとうございました。地域の力、古賀にはこういうすばらしいものがあるのだなという報告を聞かせていただいた。
- ・ 8月12日、アビスパ福岡古賀市の日があった。鹿島アントラーズとの対戦で、市長が市のコマーシャルをされた。

(2) 教育委員情報交流 なし

(3) 教育委員会報告

大神議長 報告に入る前に、市議会第3回定例会について、及び、学校施設の管理業務遂行上の過失に対する損害賠償に係る市長の専決処分については、議会提案前の機関内部の協議に関する案件であることから非公開が適切と考える。会議は原則公開であるが、委員の発議により出席者の3分の2以上で決したときは非公開とすることができることと定められていることから、公開・非公開について委員の議決をお願いしたい。

小山委員 教育委員会報告、市議会第3回定例会について、及び、学校施設の管理業務遂行上の過失に対する損害賠償に係る市長の専決処分については、非公開とすることを発議する。

大神議長 2件について、非公開とすることを発議があった。この発議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により可否の決定を行う。非公開とすることに賛成の委員は挙手をお願いしたい。

(委員全員 挙手)

大神議長 挙手全員。教育委員会報告、市議会第3回定例会について、及び、学校施設の管理業務遂行上の過失に対する損害賠償に係る市長の専決処分については公開しないことに決定する。

大神議長 続いて、スポーツ推進委員の委嘱について、報告をお願いしたい。

生涯学習推進課長 平成28年度古賀市スポーツ推進委員の委嘱について、橘氏が任期満了のため、2年間の更新となるもの。

4. 議案

大神議長 第47号議案、平成27年度古賀市教育委員会の点検及び評価報告書について、提案をお願いしたい。

教育総務課長 (議案朗読)

前回までの教育委員会で協議いただいた報告書をそれぞれ、学校教育、社会教育、それぞれの観点からお2人の大学の先生に外部評価をいただいている。学識経験者による外部評価を含めた点検及び評価報告書については、議決の後、市議会第3回定例会会期中に教育部門を所管している文教厚生委員会へ報告する予定にしている。

(外部評価朗読)

大神議長 ご意見をお願いしたい。

外部評価が二つ入ったらバランスが取れて非常によくなった。それから、青少年育成課の部分が数字だけだったのが、全体のバランスがとれていいと思う。

(仮称)生涯学習センターは、交流館にしなくてもよいのか。

教育総務課長 平成27年度の評価のため、この表記となる。

小山委員 私もこれでよいと思う。評価も細かく、項目ごとに書いてあるし、どなたが読んでもわかりやすい内容だと思う。

大神議長 教育長ご意見ありませんか。

教育長 大神委員が言われたように、外部評価が入り、バランスがとれていいのではないかなと思う。

《第47号議案 原案可決》

5. 協議事項 なし

6. その他事項

(1) 各課(所属)報告

ア、教育部長

- ・スポーツ関連で2件報告する。古賀市出身の福岡堅樹さんが7人制ラグビーの選手としてオリンピックに出場された。予選リーグでは、難しいグループであるにもかかわらず、決勝トーナメントにあがり、ベスト4に残るというすばらしい成果を上げられた。福岡選手はいろいろなマスコミに取り上げられ、古賀市としてもPRになったのではないかなと思っている。また、彼の文武両道の間精神であるとか、一所懸命に取り組むところであるとか、スポーツでの集大成の後は医療で社会貢献していきたいという心構えであるとか、そういったものがたくさんのお手本になるのではないかなと思っている。
- ・アビスパ福岡古賀市の日について。当初300名の募集をしたが、最終的には応募があった547名の皆さんにチケットをお配りした。当日は、そのうちの約75%である408名の方が、サッカー観戦をされた。当日は暑さにもかかわらず、大変熱心に応援していただいた。今後とも、こういう機会をいただけたら、古賀市のPR、子どもたちのスポーツへの関心の高まりに役立てていきたいと思っている。

イ、教育総務課

前回の工事進捗状況の件について、1件、工事が完了したので報告する。小学校の防犯カメラの設置工事が竣工検査等も終了し、稼動している状況である。

米倉委員 設置した防犯カメラは誰かが見ることになっているのか。

教育総務課長 今回の防犯カメラについては、常時誰かが見ているというものではない。有事の際に、録画しているビデオを後で見るといったもの。

米倉委員 何日間ぐらいの記録が残るのか。

教育総務課長 14日間の記録が残る。もし犯罪等発生した場合には、カメラの画像を抜き出して警察に提供することになっている。

ウ、学校教育課

- ・不登校生徒数については9月定例教育委員会で併せて報告をする。
- ・教職員の研修状況について、8月に2回実施。一つは理科指導に関わる特別講座を、久留米附属小中学校の校長先生を講師として、古賀西小学校で行った。私も参加したがとても充実した研修会だった。中学校でも実施する。また、校区連絡協議会代表者会を実施する。
- ・夏の中体連等の大会成績については6ページのとおり。福岡県大会には、それぞれの中学校から出場した。九州大会には、古賀中の陸上部、古賀北中の剣道部、新体操部が出場した。それぞれの学校の生徒たち、指導者、教職員、とても暑い中、しっかりと頑張った成果が表れていると思う。これを前期後半以降、学校の中で生かしていただきたいと思っている。
- ・前期後半の開始日が8月29日の月曜日となっている。

大神議長 不登校数は夏休みを終わったところで上がっていく。調査報告としては9月以降になるとのことだが、夏休みの生活態度など何か手を打つ方法がないかを検討されたいのではないかと思います。不登校があれだけ出るということは相当乱れるのではないかと。以前は貧困の問題で保護者が仕事で帰るのが遅く、子どもが寂しくてテレビを見て、起きられないから不登校になるという悪循環の例があったが、そういうこととはまた別に、夏休みの生活態度の問題があるのではないかと。何か試行錯誤でもいいから、手を考える必要があるのではないかと。家庭と地域が動いてもらわないといけないのだろうが、いつもこれができるたび、気になっている。

学校教育課長 スクールカウンセラーとも話をした。やはり、多いのは9月の終わりから10月にかけて。6月にも上がるのだが、2回目が9月の終わりから10月にかけてというところ。夏休みの過ごし方がすごく大きいので、小学校は全ての学校で、保護者面談をしている。そういったところで話題を出しながら行っている。中学校でも、三者面談や家庭訪問をしているところもあるので、そういう場で話をするとか、家庭との連携、どうしても家庭の中に入りにくいところは、スクールソーシャルワーカーに、早目に入ってもらおう。前期前半の中でも、スクールソーシャルワーカーに間に入ってもらったことで改善されている事例も上がっている。今、言っていたことを、しっかりとこれからも据えて、取り組みをしていきたい。

エ、生涯学習推進課

交流館開会式、生涯学習笑顔のつどいへの参加ありがとうございました。開館し、かなり多くの方が来館されている。交流館を見学される方、学習される方、いろいろな方が来館している状況。引き続き、たくさんの交流ができる場をつくっていきたい。

大神議長 私も使ったが立派な施設。使い心地もいい。

オ、文化課 なし

カ、青少年育成課

- ・ 8月20日、古賀市少年の船が出航する。今年度は例年の倍近い参加者、50名が参加する予定。
- ・ 8月27日、青少年総合センターにおいて、九州産業大学との連携事業である科学実験教室を実施する。
- ・ 8月29日、夏休みの開けの登校初日に地域つながりあいさつ運動を取り組む。各教育委員には、近くの小学校で登校してくる子どもたちへの声かけをお願いしたい。

米倉委員 少年の船について、今回増えたということだが、何人増えたのか。

青少年育成課長 参加者50名。

米倉委員 これは例年より多いんですね。

青少年育成課長 例年、20名に満たないぐらい。今回は、各小学校を訪れて、児童の皆さんにそれぞれ手渡しでチラシを配る活動を少年の船の会のボランティアさんが手分けしてされたことにより、非常に多くの方に参加いただいている状況。

米倉委員 私も以前行ったことがあり、いい活動だと思っている。ある程度補助金を出していると思うが、負担が多いからたくさん参加してもらうためにはなるべく多く補助金を出してもらえるといいと思う。

青少年育成課 補助金については、現在130万円を上限として、少年の船の会に補助をしている。今後の補助金の増額等につきましては、今後協議していきたいと考えている。

米倉委員 130万円は参加者数が増えたら一人あたりが減るとのことか。

青少年育成課長 補助金についてはスタッフに対する補助というところがあり、参加者については、適切な金額を自己負担してもらっている。

米倉委員 スタッフについては、ある程度補助しているということですね。

青少年育成課長 スタッフの旅費については半額程度の補助になるような形で精査している。

小山委員 学校で手渡しされたことで、参加者の人数が増えたということだから、活動の様子などの報告も、保護者や子どもたちの目に触れるような機会があったらいいのではないかと思う。

青少年育成課長 活動報告については、8月24日帰航式の際に、これまでの活動内容であるとか、子どもたちの成長した姿を含めて、保護者の方と一緒に子どもたちを交えて行く。その中で、スタッフを含め、今まで感じたことなど感想を述べる場がある。参加された保護者限定にはなるが、そこで、報告をする場を設けている。

小山委員 なかなかこういう機会はない。今回は参加できなかったけれど、興味はあるというご家庭もあると思うので、外部にお知らせできるような機会があればと思う。

青少年育成課長 こがっちという情報誌がある。そこに少年の船の記事を載せることは可能。団体の補助、育成という観点から検討したいと思う。

大神議長 楽しい報告会にしてはどうか。画像を見せるなど。うちの子どもたちはみんな体験したし、スタッフでも参加したから内容は知っているが、式場で、文章を読んで感想というのは、少し社会教育全体としてのプランニングが弱いと思う。楽しくしてあげるといふ時代なのではないか。そうすれば、次がまたたくさん集まるのでは。何か工夫したり、点検と評価報告

書にこの活動も載せてもいい。重要な青少年育成の事業だと思う。検討いただくとありがたい。

青少年育成課長 いただいたご意見等を参考にしながら、今後十分検討させていただきたい。

キ、給食センター

教育部長 夏休みの機会を通じて機械機器等の点検を現在行っている。

(2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (10月定例教育委員会の日程調整)

大神議長 10月定例教育委員会は10月25日13時30分とする。

7. 閉会

議長が閉会を宣言し、15時30分閉会した。